



RB' -0078

0042

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records  
National Archives of Japan

事務部

昭和二十一年八月二十二日

船員失業対策特別委員会

委員長 村上義一

終戦連絡中央事務局

總裁 吉田茂 殿

要再  
経済省工

○賠償物件輸送を日本海運に於て  
担任せしめられたい要望について

本月二十日開催せられた船員失業  
対策特別委員会に於て賠償物件  
の輸送に関し各委員より別紙  
趣旨に基く熱烈なる要望が  
あり決議されたのでこれが委員  
現について特に御高配御願ひ  
致します。

昭和二十一年八月二十二日

21.8.27  
郵便

0008-1

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RB'-0078

0043

賠償物件輸送を日本海運に於て担任せしめらるべき要望について

船員失業対策特別委員会

近々賠償物件の撤去が実施せられ、その輸送が開始せられる見込みである。日本海運の再建は素より、現下船員の失業対策の見地より賠償物件の輸送はこれを我が海運によつて実施することとした。その理由は左記の通りである。

記

一 日本に現有可動船腹は約二〇萬重量トンであるが国内の出荷状況から觀察すると當分の四五〇萬重量トン内外は常時遊休となり繫船の外はない。又帰還輸送は概ね本年中に終了する豫定之に因つて相當多量の失業船員が豫見せられるのである。従つてこれに伴ふ船員の失業対策としては種々の方途を考究してゐるか、船員の失業対策としては船員を船員として活動させること即ち失業を防止することが最良策である。特に再建日本経済に於ける海運の重要性を考へるとき其の甚

たる優秀船員の確保は極めて重要なことからである。この点から云つても本件は最上の失業対策である。

二 賠償物資八百万トンの重量化貨物を二、三年間に積出すと云ふことは今日の港灣能力からすれば甚だ困難なことであるが唯一の方途は、日本側の一母員責任に於て全國の港灣をその能力に應じて動員し日本側の適船をこれに配置することか此の輸送を能率的に遂行する所以である。

これを外國海運に依つて行はるとすれば諸種の観点から主要港にのみ集中せられ、此の過重の負担と混乱とを惹起し延ては賠償受領國に悪感情を誘致する結果ともなるであらう。

三 賠償物資の相手國は孰れも新日本の輸出入貿易の相手方として又海運市場として最も緊密な重要な諸地域である。その上、今次の競争で最敗迷惑をかけたところである。この地域に對して我國の海運に依つて賠償物件を送り届けることは信用輸出を行ふことになり今後の親善関係樹立上好影響を齎すものと云ひ得る。



(分類 B'3102-6) (票 合 照)

受信者  
終戦連絡  
神戸事務局長

件名

賠償工場内変圧器等搬出に関する件

原書ハ H. 2200 / 連合軍に関する建設手帳雑件ニ在リ

昭和廿二年八月十日

第八四號

記録件名

発信者 若田總裁

○ 我が船舶の最終処分及我が國に許さるべき海運の規模等は諸和會議に於て決定せらるるものと思はれるが其の際我が船舶が運休として數隻停止せる場合と全幅稼働してゐる場合とは其の処分等決定に重大な影響を及ぼすものがあると思はれる。

○ 賠償輸送を日本海運で担任しないからと云つてこれに必要を輸送費を以てすし免れるとは限らない。その場合に於ては更に船員の失業対策費及集中港に於ける無駄な寄附費等の経費を支払ふことになるから、日本海運がこれを受けけることとしても決して財政上から見て不利益ではない。

○ 八百円を輸送するには日本船とリハティ船の貸与と継続に依つて二年間に完了する計画である。

0008-3

